

八丈島 水産だより



03月号
2020年



虹(2020年2月10日)



第42回八丈島駅伝大会

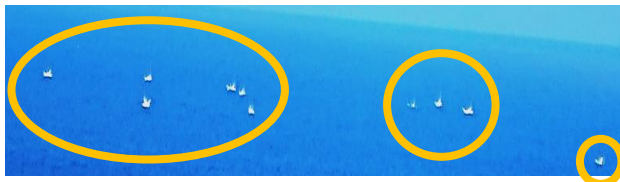
最近^{さいきん}は南風^{みなみかぜ}が吹^ふく日も増^ふえてきて、春^{はる}の暖^{あたた}かさを感じ^{かん}られるようになってきました。その南風^{みなみかぜ}の影響^{えいきょう}もあつてか、雨^{あめ}が降^ふることもしばしば。しかし、晴^はれ間^まがのぞくと虹^{にじ}が見^みえることもあります。雨^{あめ}の多^{おお}い八丈島^{はちじょうじま}では虹^{にじ}も多く、見^みえると少し^{すこ}得^{とく}した気^き分^{ぶん}になります。2月^{がつ}下旬^{げいじゆん}には第42回^{だい}八丈島^{はちじょうじま}駅伝^{えきでん}大会^{たいかい}が開催^{かいさい}されました。当日^{とうじつ}は好天^{こうてん}に恵^{めぐ}まれ、冬^{ふゆ}晴^ばれの下^{した}で気持^{きも}ちよく走^{はし}ることができ、全^{すべ}てのチ^ちームが無^む事^じタスキをつないで完走^{かんそう}しました。

■ 最近の漁模様

八丈島^{はちじょうじま}では、引^ひき続^{つづ}きキンメダイ^{きんめだい}漁^{りょう}やひき縄^{なわ}漁^{りょう}が主^{おも}に行^{おこな}われています。キンメダイ^{きんめだい}漁^{りょう}では、最近^{さいきん}は島^{しま}の近^{ちか}くで漁^{りょう}をする日^ひが多^{おお}いようです。漁^{りょう}をするには燃^{ねん}料^{りょう}やえさなどにお金^{かね}がかかりま^す。近^{ちか}くの漁場^{ぎょじょう}で魚^{さかな}が獲^とれれば燃^{ねん}料^{りょう}の節^{せつ}約^{やく}にもつな^がり、さら^に沖^{おき}の海況^{かいきょう}が悪^{わる}くても出^{しゅつ}漁^{りょう}できま^す。また、漁港^{ぎょこう}では島周^{しままわ}りでトビウオ^とが飛^とんでいるという声^{こゑ}が聞^きこえるようになり、トビウオ^と漁船^{ぎょせん}も着^{ちやく}々と準^{じゆん}備^びを進^{すす}めています。



← キンメダイ漁の操業風景
島の漁船では、数十本の釣針がついた釣糸で釣り上げる一本釣り漁が主流。



↑ 島から見たキンメダイ漁船
八丈島周辺のキンメダイ漁場は遠いところが多いため見えることは少ないが、近くで操業すると見えることも。

■ 栄養満点！トビウオを食べよう！



ハマトビウオ



↑トビウオの島寿司

↑トビウオのフライ

八丈島^{はちじょうじま}ではトビウオ^{とびうお}漁^{りょう}が古^{ふる}くから行^{おこな}われており、
← 八丈島^{はちじょうじま}で主^{おも}に水揚^{とうない}げされる島内^{とうない}で食^たべられるだけでなく、東京^{とうきょう}都内^{とない}の学^{がっこう}校給食^{きゅうじき}トビウオ^{とびうお}。3月^{がつ}ご^ごろから5月^{がつ}ご^ごろまでが漁^{りょう}期^き。クであることに加え、生活^{せい}習慣^{じゆん}病^{びょう}の予^よ防^{ぼう}効^{こう}果^{くわ}が期^き待^{たい}されるビ^おタ^おミ^おン^おE^おが多^{おほ}く含^{ふく}まれています。また、給^{きゅう}食^{じき}でも使^{つか}われる八丈島^{はちじょうじま}漁^{りょう}協^{ぎょきょう}女^{にょ}性^{せい}部^ぶのトビウオ^{とびうお}のミ^みン^{みん}チ^ちは、骨^{ほね}ごとすり潰^{つぶ}しているため、カルシ^かウムも豊^{ほう}富^ふです。今年^{ことし}は美^{おい}味^みしくて栄^{えい}養^{よう}満^{まん}点^{てん}のトビウオ^{とびうお}が大^{たい}漁^{りょう}になり、た^たく^たさん食^たべられるとと^とい^いです^すね！